

Withコロナと防災活動

3ヶ月間にわたり、日本を代表するマンガ『鬼滅の刃』と『ONE PIECE』から防災を考えてみました。如何でしたか? 「何を言っているのか判らなかった!」「マンガと防災?全然訳がわからなくなった!」と仰るご意見があるかもしれません。それで良いのです。読んで頂き、考えて頂く事で、自分なりの「わからない」という答えを出されたのでしょ。う。「わからない」からこそ、今後襲ってくる災禍に対して、自分は何をすべきか、何を守るのか、その時どうすればよいのか。それらについて今後、**あなたが考えなければならぬのです。**『災害が襲ってくるから防災活動をしなければと思う』『大きな地震や台風がくると大変だから防災をしようと思う』『何を備えたらよいのか悩む』『コロナ禍で災害が発生したらどうしようと悩む』等々。多くの方が『**思い。悩む**』という自分の頭の中だけで動き、自分の殻から外に出ていないのです。「わからない」とは「考える」という状態が始まる一歩なのです。しかし「考える」ことは、とても忍耐と辛抱が必要なことです。これは『**学び**』に通ずるものがあります。『**学びや考える**』ことに人は絶えられず、簡単に「学び・考える」ということを諦め、手放してしまうことが多いのです。重要なことは『**学びや考える**』とは、**答えを導き出すことではありません。**『**答えを追求し続けること**』なのです。もう一つ、人はどうしても他者からヒントをもらい近道をしたいと考えます。これはただ単に人の答えであり、あなたが本当に必要とする答えではないのかも知れません。にもかかわらず他人が導いた答えに、自分や自分の大切な人の命を預けてしまう「**丸投げ防災**」をしてしまう人が多いのです。災害は日々進化しています。それらに対応可能な『**知識**』が必要となります。「**思い・悩む**」のではなく、「**考える・一緒に考える**」これが大切です。そうすれば小さなデータベースが、巨大なシンクタンクへと変化し「**変わる**」のです。加古川グリーンシティ防災会は、真っ白でゼロの防災知識から今日の防災活動までやってきました。そして、これからもやり続けるでしょう。そこにはマンガからも考察された『**逆算方式の防災組織**』『**共感型**』『**ビジョン型**』が創り上げられ存在している『**考える心**』があるからです。

さて、阪神・淡路大震災以降の26年間であなたを取り巻く環境に変化はありましたか?あなたの『心』にも変化がありましたか?私は、まちが美しくなり、



笑顔があふれ、挨拶が行き交う!そんなまちの一住民であることに誇りを持てるようになりました。大切にしたいまち、守り続けたいまち、今よりより良くして次世代に渡したい。そう考える26年の年月です。そのスタートとなったのは『**自分のまち・町・街を好きになった**』からだと考えます。そこには、**まち自慢ができる**ことが生まれたからだと考えます。『**ご当地自慢話**』ができるネタがあふれている『**意識高い系のまち**』となったからなのです。今までも、そしてこれからも様々な考え方や意見は湧き出てくるでしょう。そうです。「**まちを良くしたい**」という思いがあれば、わかり合えます。ただし!そこには個人の利益最優先で利己的な野心は捨てなければなりません。

コロナ禍で世界の意識は変わります。我々もその変革に適応していかなければなりません。『**自分の強い想いも一歩引くこと**』が必要な時代となるでしょう。この考えは皆さんが、小学生で覚えた算数「 $+-\times\div=$ 」と、中学生で覚えた「 \div 」(ニアリーイコール・近似値)で『**答**』を生み出せば良いのです。

「 $+-\times\div=$ 」がどう役に立つのか!

算数

「+」は、様々な人が何人もで意見を述べあうこと。「-」は、みんなで意見を述べあった中で、まちが美しくきれいになるために汚れたものを取り払うこと。「 \times 」は、みんなで団結すれば、こんなにも凄いことができるということ。「 \div 」は、それぞれ個人の考えを割って平均化すること。つまり自分自身が一歩引いても、物事の正しい順序や状態を創るということ。そして「=」は、全く同じ考えを持つこと、親友といえる存在が生まれること。でも「=」にはならないことの方が多い。そこで「 \div 」!限りなく「=」に近いものを生み出さなければ解決できないことの多さに気づきます。キッチリとした答えが出る算数でさえも、「 \div 」を覚えるのです。世の中「 \div 」じゃないとすまないことがたくさんあります。それが私たちの目には、とても汚れて映るかもしれないし、意見の違いで怒りの気持ちになることもあるでしょう。その怒りも様々な意見も、未来の美しいまちのことを考えてのことだとしたならば、その時は皆さん!「 \div 」を思い出してください。限りなく「=」に近いということ。人は、たったひとりでも生きていくわけではないのだから、人はいつにおいても歩み寄れるはず。しかし!その「 \div 」には、必ず善意がつかまとうべきです。色んなことが起きれば善意の「 \div 」で決めれば良い。これが我々の考える「**まちづくりの手法**」であり、**防災**そのものです。